フォースゲージ　Force Gauge

引張、圧縮力を簡単測定

AD-4932A-50N
¥36,000（税込価格¥37,800）

- 引張、圧縮に対応
- ピークホールド
- ワンボタンで表示方向の切り換え

別売品

ACアダプター	AX-TB189	¥2,400（税込価格¥2,520）
アタッチメント	AX-4932EXTN5 延長ロッド	¥1,000（税込価格¥1,050）
	AX-4932FLAT5 圧縮円盤形	¥1,000（税込価格¥1,050）
	AX-4932HOOK5 フック形	¥1,000（税込価格¥1,050）
	AX-4932CONE5 円錐形	¥1,000（税込価格¥1,050）
	AX-4932CHSL5 ノミ形	¥1,000（税込価格¥1,050）

	AD-4932A-50N
測定範囲	0～50.00N
測定単位	N（ニュートン）
測定精度	±（0.4%rdg ＋1dgt）常温
表示分解能	0.01N
許容最大荷重	68N
最大変位量	約0.25mm
応答速度	約0.2秒（ファースト）、約0.6秒（スロー）
表示	5桁液晶表示
オーバーレンジ表示	“－－－－”表示
電源	単3形乾電池6本または別売専用ACアダプター（入力100VAC、50/60Hz）
電池寿命	マンガン電池使用で約20時間（消費電流約24mA）
寸法／質量	83（W）×227（H）×39（D）mm／約550g（電池含む）
付属品	キャリングケース、アタッチメント（延長ロッド、圧縮円盤形、フック形、円錐形、ノミ形）、電池（モニタ用）、取扱説明書

オプティカル・タコメーター　Optical Tachometer

オプティカル・タコメーター

AD-5172
¥19,800（税込価格¥20,790）

- 非接触式光センサー
- MAX、MIN値メモリ機能つき
- データーホールド機能つき
- ロー・バッテリ表示機能つき
- オートレンジ機能つき

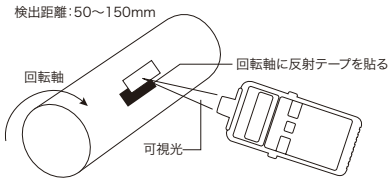
- 非接触で、簡単に回転軸の回転速度の測定可能
- モーター、ファン、ギア、ポンプなどの回転測定に

	AD-5172
測定方式	非接触反射光方式
測定範囲	10～100000rpm
分解能	0.1rpm（10～9999.9rpm） 1rpm（10000～99999rpm） 10rpm（100000rpm以上）
測定距離	50～150mm（最大300mm）
電源	単3形乾電池4本
電池寿命	連続35時間（アルカリ乾電池使用時）
寸法	96（W）×192（H）×38（D）mm
質量	約300g（電池含む）
付属品	キャリングケース、取扱説明書、®反射テープ（寸法：約15（W）×230（H）×mm、厚さ：0.15mm）

※ 別売はしておりません。ご使用後は一般量販店などでアルミテープをお求めください。

測定方法：

回転軸の周面に反射テープを1枚貼り付け、赤色可視光の反射光で反射テープを検出し、回転速度を計測して表示します。



壁内センサー　Stud Sensor

AD-1112
¥2,200（税込価格¥2,310）

AD-1112S
¥1,700（税込価格¥1,785）

AD-1112M
¥1,800（税込価格¥1,890）

壁内の木材・金属（鋼管）・検電が音と光でわかる

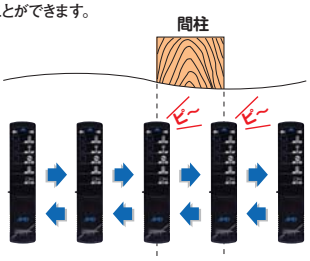
- 簡単な操作で木材、金属、検電の3種の検知ができる（AD-1112Sは木材のみ、AD-1112Mは金属と検電のみ）
- 音と光により間柱の中心や配管（鋼管）、配線の位置を知ることができる
- 家具などの転倒防止金具や額、絵画の取り付けに役立てる

		AD-1112	AD-1112S	AD-1112M
探知能力	木材	壁厚12mm	壁厚12mm	―――
	金属	直径15mm、鋼管の場合、奥行24mm	―――	直径15mm、鋼管の場合、奥行24mm
	検電	100VAC、導電線の場合、奥行40mm	―――	100VAC、導電線の場合、奥行40mm
電源		6F22形（066P形）9V乾電池1個		
寸法		40（W）×175（H）×26（D）mm		
質量		約90g（電池除く）	約75g（電池除く）	約85g（電池除く）
付属品		電池（モニタ用）、取扱説明書		

壁内センサーの上手な使い方

壁内センサーは、見えない壁うらの間柱（木材）や金属パイプ、電流の流れている電線（検電）などを調べるために便利で安価な機器ですが、その反面、穴を開けるなど直接的に検知するものではないため、補助的に大まかな位置を検知する場合にご使用いただくことができます。

※ 本器を正しく動作させる為のポイントは、①～②の操作で、本器を壁にあててから電源を入れることです。手にもって空気中で電源を入れると、ブザーが鳴りっぱなしになることがあります。
※ 金属が壁うらに接触している場合は、木材の検知モードでも金属を間柱として検知することがあります。木材検知に続いて同様な操作で、「金属」検知に切り換えて測定し「金属」検知した場合、間柱（木材）ではなく金属となります。
※ ①～②で電源を入れる時にその位置が偶然にも間柱の上であった場合、間柱を感知できませんので、何も検知できない場合は、場所をずらしてから再度測定を始めてください。



● 木材を検知する例 AD-1112、AD-1112S

① 本器の裏面を壁にぴったり密着するようにあてます。
② 壁にあてたまま、切替スイッチを「木材」に合わせます。（電源が入ります）
③ 本器を壁にあてたまま、図のように左から右（または右から左）へゆっくりスライドさせます。
④ 図のように、壁うらの間柱などの下地材付近に来ると検知ランプが点灯、ブザー音が鳴り出します。
⑤ さらにゆっくりスライドさせて、本器が壁うらの間柱から離れると、検知ランプは消え、ブザー音も止まります。
⑥ 検知ランプが点灯、ブザーが鳴っている間に間柱があることを示しています。

同じように、壁にあてたまま③～⑥の操作を逆の方向からくり返して、数往復させながら測定すると、間柱の位置をより正しく把握することができます。

● 金属、検電を検知する例 AD-1112、AD-1112M

金属や検電を検知する部分は本器先端の斜めになっている ⊖ マークがある面です。

① 本器の金属、検電検知部を壁にぴったり密着するようにあてます。
② 壁にあてたまま、切替スイッチを「金属・検電」に合わせます。（電源が入ります）
③～⑥は木材を検知する例と同様に操作をします。